



なは市民の友

第717号 毎月1回発行
2010年(平成22年)

10月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市上之屋1丁目2番1号
☎867-0111 ●印刷 株池宮商会

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2010(平成22)年8月末現在	
総人口	318,036(2,113)
男	153,425 (1,071)
女	164,611 (1,042)
世帯数	135,753(1,277)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	95,555
真和志	104,418
首 里	57,946
小 禄	58,004



久貝校長へ市民栄誉賞が送られました



春夏連覇!市民に夢と希望を

興南高校

那覇市民栄誉賞授与

春の甲子園に続き、夏の甲子園でも全国制覇という偉業を成し遂げた興南高校野球部。初めて沖縄に深紅の優勝旗が渡るとともに、史上6校目となる春夏連覇を果たしました。

この偉業を称え9月10日(金)、市は興南高校に那覇市民栄誉賞を贈りました。那覇市民栄誉賞は、本市の名声を全国的に広めるとともに、広く市民に敬愛され、社会に明るい夢と希望を与えた個人、団体に贈られるものです。

また9月12日(日)には、興南高校グラウンドで、野球部員130人全員と監督、コーチに琉球ガラスで作られた名前入りの市民栄誉賞記念メダルを、翁長市長が一人ひとり首にかけました。メダルの色は興南高校のイメージカラー、オレンジ色です。

我喜屋優(がきやまさる)監督はこの場所は、一つの名所になると思います。部員全員にメダルが貰えると思わなかつたので、とても嬉しいですよ」と日頃練習を重ねてきたグラウンドでの授与に感謝の言葉を述べました。

我如古盛次(がねこもりつぐ)キャプテンは「市民のみなさんの応援のおかげで、素晴らしい結果を残すことができました。この結果が自信になります」と選手を代表してあいさつしました。

主な紙面

- 医療費削減へ二つの取り組みを強化 2
- 平成23年度保育所入所案内 3
- 市職員の給与、職員数のあらまし 4
- 第5回スポーツフェスティバルは 5
- 情報PACK 6

協働さん

いらっしやい!!



市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第1回 なは市民協議会

お問い合わせ
市民協働推進課 ☎861-3846



なは市民協議会の饒波代表

第1回目は、なは市民協議会を紹介します。代表の饒波正博(の まさひろ)さんに、活動について伺いました。

Q 活動を始めたきっかけは?

大学卒業後、東京で生活する中で、まちづくりに興味をもちました。沖縄に帰り、娘の誕生を機に、子どもの未来についても考えるようになりまし。沖縄自治研究会や那覇市第4次総合計画策定に参加して様々なことを学び、「なはのまちを考えると講座」で仲間ができたことがきっかけです。

Q 活動を通して、得られたことは?

講座に参加して、那覇市の現状や行政、市民、議会のある方について改めて学び、気づかされました。そのうちに、那覇のまちづくりについて活動したいという思いが強くなり、「なは市民協議会」を発足する原点になりました。

協議会は、市民と市職員らで構成され、那覇市の課

「自治のまち なは」を世界に発信



市民協議会の活動風景

協議会が掲げている目標は「自治のまち なは」を世界に発信することです。大きな夢ですが、誰でも自分の住んでいるまちが番だと思っています。それは個性であり、アイデンティティであると思います。那覇でしか味わえない暮らしを、市民と行政とが一緒になつてあげていく新たな仕組みをつくっていかれたらと思います。

Q 今後の目標や夢を教えてください

協議会が掲げている目標は「自治のまち なは」を世界に発信することです。大きな夢ですが、誰でも自分の住んでいるまちが番だと思っています。それは個性であり、アイデンティティであると思います。那覇でしか味わえない暮らしを、市民と行政とが一緒になつてあげていく新たな仕組みをつくっていかれたらと思います。